

自動ドア利用者への安全啓蒙のために 『戸袋警告用ラベル』の貼付を推進

ナブテスコ株式会社（本社：東京都港区、社長：松本 和幸）は、自動ドアの安全性向上と啓蒙を目的として、『戸袋警告用ラベル』を作成し、12月より販売会社を通じてラベル貼付の推進を行います。

2007年5月から施行された改正消費生活用製品安全法により、重大製品事故の報告・公表制度が施行されることになりました。また、業界におきましても2006年4月1日に「自動ドア安全ガイドライン（スライド式自動ドア編）」が制定されて以降、顧客や行政の安全指向が高まっております。

これまで自動ドア業界では、全国自動ドア協会（JADA）主導のもと、自動ドアへの駆け込みや立ち止まりを抑止するための「警告表示ラベル」貼付の推進を行っており、これらは施主および建物管理者のご理解をいただき、現在では広く普及しています。しかしながら、いまだに自動ドアへの衝突、ドア戸袋への指挟み、引き込まれなどの事故も報告されています。

そこで当社は、自動ドアの更なる安全利用のため、新たに『戸袋警告用ラベル』を作成、貼付を行い、利用者の安全確保に向けた推進を行ってまいります。新築物件はもとより、現在ご使用いただいている自動ドアにも、ぜひとも本ラベルの貼付をお願いしたいと存じます。

次ページに貼付例を紹介いたします。



戸袋警告用ラベル

<参考：貼付例>

